

第48回少年の主張福島県大会開催要綱

1 趣 旨

少子高齢化、国際化、情報化が急速に進み、環境が目まぐるしく変化する現代社会において、次代を担う子どもたちには、心身ともに健康で他者を思いやる心を持ち、社会的に自立していける、健やかな成長が求められています。そのためには、広い視野と柔軟な発想や創造性などとともに、物事を論理的に考える力や、自らの主張を正しく伝え、理解してもらう力などを身につけることが大切です。これらの契機となることを願って、少年の主張福島県大会を開催します。中学生が日頃考え、感じていることを自分自身の言葉でまとめ、その真摯な思いを広く発表する機会を提供することで、少年の健全育成に対する大人の理解と協力を深めていきます。

2 対 象 福島県内の中学生

3 主 催 福島県青少年育成県民会議
独立行政法人国立青少年教育振興機構

4 共 催 福島県、福島県教育委員会、相馬市、相馬市教育委員会
相馬市青少年健全育成市民会議

5 後 援 福島県中学校長会、福島民報社、福島民友新聞社、NHK福島放送局
ラジオ福島、福島テレビ、福島中央テレビ、福島放送、テレビユー福島
ふくしまFM、公益財団法人福島県青少年育成・男女共生推進機構

6 開催日時 令和8年9月25日（金） 12:30～16:00

7 開催場所 相馬市民会館 〈電話〉0244-35-2426
〈住所〉〒976-0042 福島県相馬市中村字北町51-1

8 募集期間 令和8年7月1日（水）～8月18日（火）（必着）

9 発表内容

(1) 主張の内容

ア 社会や世界に向けての意見、未来への希望や提案など

イ 家庭・学校生活・社会（地域活動）及び身の回りや友達との関わりなど

ウ テレビや新聞などで報道されている少年の問題など

エ 大人や社会の様々な出来事に対する意見や感想、提言など

上記のような内容で、心に思い考えていることや感じていることを、自由でユニークな発想で、飾り気のない言葉でまとめたもの。

なお、商業的な固有名詞の使用は極力さけるようにしてください。

（良い例：〇〇県にある、ある旅館 悪い例：〇〇県にある〇〇旅館）

(2) 発表方法及び発表時間

ア 発表の際、紹介のために写真や物品等を示したり、身振り手振りを交えたりすることができます。ただし審査の加点対象とはなりません。

イ 発表時間は4分30秒～5分30秒以内を厳守ください。大幅な時間オーバーについては、減点の対象とします。（400字詰原稿用紙4枚程度）

なお、提出する作文原稿は400字詰め原稿用紙（A4判縦書き）を使用してください。B4判縦書き原稿用紙は受付できませんので留意ください。

10 注意事項

(1) 発表する作文原稿は未発表、自作のものに限ります。

(2) 生成 AI を利用した原稿の執筆・推敲は認めません。

1.1 発表者の決定

令和8年4月1日現在の各青少年育成市町村民会議から、(別表1)「令和8年度 少年の主張福島大会市町村民会議推薦数」に基づき推薦された作品の中から、作文審査により選ばれた15名及び開催地の中学生1名が、県大会に出場し発表します。なお、県大会出場者には、自筆の作文原稿(原本)を、県大会当日までに提出していただきます。

1.2 表彰

発表終了後に開催する審査会において、最優秀賞1名、優秀賞5名、優良賞10名を選出し、表彰式において賞状及び賞品を授与します。

1.3 全国大会への推薦

本大会の最優秀賞受賞者を、県代表として少年の主張全国大会に推薦します。県代表者の発表作文等は北海道・東北ブロックで選考を受け、ブロック代表(2名)に選ばれた場合には「第48回少年の主張全国大会」(11月22日(日)東京で開催予定)で主張発表を行います。

1.4 その他

- (1) 県大会出場者の作品(提出原稿を含む)の著作権は主催者に帰属するものとします。
なお、応募作品は返却しません。
- (2) 県大会当日のプログラム、大会記録集、主催者のホームページ、機関誌、新聞等に、県大会出場者本人の写真、氏名、学校名等を掲載します。また、県大会当日の様子を録画・編集した動画や審査結果等についても、当会議のホームページ及びYouTubeを通じて公開します。
〔ホームページアドレス URL <http://www.fukushima-youth.com/>〕
- (3) 県大会に出場する主張発表者及び付添者の経費は、青少年育成県民会議が負担します。

1.5 審査基準

☆ 論 旨

- 1 鋭い感性で、新鮮な主張であるか
- 2 自分の考えを自分自身の言葉で表現しているか
- 3 個人の体験に基づき、社会に訴える主張であるか
- 4 提案や提言を実践しようとする意欲が感じられるか
- 5 論旨が一貫していて分かりやすいか
- 6 内容に共感、感動できるか

☆ 論 調・態 度

- 1 共感と感銘を与えているか
- 2 説得力のある話か
- 3 熱意と迫力があるか
- 4 落ち着いて話しているか
- 5 聴衆に感動を与えているか

1.6 審査委員(予定)

審査委員長	福島県青少年育成県民会議副会長 福島民報社編集局 福島民友新聞社編集局 福島県女性団体連絡協議会会長 福島県中学校長会会長 福島県PTA連合会理事
-------	--